

標準委員会 システム安全専門部会 定期安全レビュー分科会  
第 37 回定期安全レビュー分科会 (P6Ph2S37) 議事録

1. 日 時 2014 年 11 月 19 日 (水) 10 時 00 分～11 時 15 分
2. 場 所 中部電力東京支社 日本プレスセンタービル 5 階 第 6 会議室
3. 出席者 (敬称略)  
(出席委員) 上野副主査 (MRI), 成宮幹事 (関西), 伊藤委員 (中部), 倉本委員 (NEL),  
中村委員 (原電), 村上委員 (東大), 平川委員 (原安進), 林 (中野委員代理),  
渡辺委員 (東京) (9 名)  
(欠席委員) 岡本主査 (東大), 中村武彦委員 (J A E A)  
(常時参加者) 伊藤 (規制庁), 長谷川 (北海道), 角田, 山口 (東京), 佐久間 (中国),  
松本 (四国), 福永 (九州), 三山 (NEL), 宮森 (北陸) (9 名)  
(傍聴者) なし
4. 配布資料  
P6Ph2SC37-0 第 37 回定期安全レビュー分科会議事次第  
P6Ph2SC37-1-1 第 36 回定期安全レビュー分科会議事録 (案)  
P6Ph2SC37-1-2 第 58 回標準委員会議事録 (案) (PSR 分科会関係抜粋)  
P6Ph2SC37-2 標準委員会書面投票結果  
P6Ph2SC37-3-1 PSR プラス指針案 標準委員会書面投票意見対応表  
P6Ph2SC37-3-2 PSR プラス指針案 新旧比較表  
P6Ph2SC37-3-3 原子力発電所の安全性向上のための定期的な評価に関する指針 (案)  
P6Ph2SC37-4 今後のスケジュール  
P6Ph2SC37-5 定期安全レビュー分科会 名簿
5. 議題
  - (1) 前回議事録案及び標準委員会報告結果の確認
  - (2) 標準委員会書面投票結果の確認
  - (3) 標準委員会書面投票のコメント対応案の審議
  - (4) 今後のスケジュール
6. 議事内容  
委員の定足数 (9 名 / 11 名) を確認した。  
(1) 前回議事録案及び標準委員会報告結果の確認について (P6Ph2SC37-1-1, 2)  
成宮幹事より前回議事録の説明があり, 承認された。  
また, 成宮幹事より標準委員会報告結果の説明があり, 確認された。

(2) 標準委員会書面投票結果の確認について (P6Ph2SC37-2)

成宮幹事より標準委員会書面投票結果の説明があり，確認された。

(3) 標準委員会書面投票のコメント対応の審議について (P6Ph2SC37-3-1～3)

成宮幹事より標準委員会書面投票のコメント対応案の説明があり，議論の結果を以って一部修正することとした。また，誤記訂正の説明があり，承認された。

主な議論は以下のとおり。

**コメント番号 1**

○SSG-25 の「the comprehensiveness of the PSR should be ensured by other means.」の部分が重要であることから，修正案に反映すること。

⇒拝承。具体的には，他の手段を使うことを含め PSR の包括性を確保しなければならないという旨を追加する。

○修正案の追記場所を“B.2 安全因子の名称”としているが，内容的には“B.1 安全因子レビューの考え方”又は“B.3 安全因子の位置づけ”がよいのではないか。

⇒追記場所の変更は行わず，B.2 のタイトルを「安全因子の設定の考え方」に修正する。

**コメント番号 5**

○国際的に認知された規格基準を用いることが重要であるため，「国内及び国際的な規格基準」に修正した場合，国際的に認知されていなくても国内の規格基準を満たせばよいと勘違いされてしまうのではないか。

⇒国際的に認知された国内の規格基準であることが重要であるため，修正案を変更する。

具体的には，最新の国際的な規格基準とは，国際的に最新であると認知された規格基準である旨の説明を追加し，その後に，国内の規格基準であっても，最新の国際的な規格基準を反映している場合には，それも含む旨を追加する。

**コメント番号 10**

○緊急時計画が事業者防災業務計画である旨を明記すべきということがコメントの主旨ではないか。

⇒指針案の注記では緊急時計画について説明したいため，唐突に出てくる事業者防災業務計画という言葉は削除した。

なお，注記を，注記 1 に緊急時計画，注記 2 に緊急事態と分割し記載することとする。

○同じ記載がある附属書Cについても修正すること。

⇒拝承。

**コメント番号 12**

○出典を記載すること。

⇒拝承。

(4)今後のスケジュールについて

今回の議論を踏まえた修正文案については、今週中にメールで送付し、11/26までにコメントがあれば連絡することとする。必要に応じてコメント反映し、12/3のシステム安全専門部会用の資料とする。

以 上